

授業科目名	小児聴覚障害学 I	授業形態	講義	配当学期	1年（前期）
担当教員名	足立 健太	単位数	1単位	時間数	30時間
授業概要 学習目標	<p>〔授業概要〕 構音障害に関わる発声発語器官の解剖やそれにかかわる脳神経の働きを知る。 構音障害の種類やそれにかかわる脳神経部位、病名を知る。</p> <p>〔学習目標〕 発声発語器官の部位・機能を知る。 構音障害の種類と関連する神経、病名を知る。</p>				
授業回数	授業内容				
第 1 回	コミュニケーションとは（基本・スピーチチェーン）				
第 2 回	難聴の疑似体験				
第 3 回	新生児聴覚障害のハイリスク因子、新生児聴覚スクリーニングについて				
第 4 回	音圧とデシベルについて				
第 5 回	ヘレンケラー				
第 6 回	原始反射・検査について				
第 7 回	先天性難聴について				
第 8 回	難聴児への初期介入について				
第 9 回	指文字・手話				
第 10 回	指文字・手話				
第 11 回	聴覚学習について①				
第 12 回	聴覚学習について②				
第 13 回	聴覚障害の程度等級について				
第 14 回	視覚聴覚二重障害について				
第 15 回	まとめ				
評価方法	定期試験（100%）				
教科書 参考図書	〔教科書〕 標準言語聴覚障害学 聴覚障害学 第3版 医学書院				
	〔参考図書〕 配布資料				
履修上の 留意点					
メッセージ	聴覚障害についての基本的な内容です。成人のSTを志望する学生も、しっかり勉強してください。				